

政務調査費

費用弁償

海外視察

「まとめて9月に結論」

全会派で合意

広島市議会

「議員特権」見直しへ大きな一歩!!

広島市議会は、6月定例会の会期中に開いた各派幹事長会議で、「政務調査費の領収書公開」「1日11,000円の費用弁償」「海外視察」について、「9月定例会で必ず結論を出す」ことで全会派が合意。「議員特権」の見直しへ大きな一歩を踏み出しました。



日本共産党

世論と連携し「議会改革」をリード

今回、合意に達した背景には、今年2月、政務調査費の不正支出が住民監査請求により発覚し、市議会に対する市民の目が厳しくなったことがあげられます。

4月の改選時にマスコミがおこなった候補者アンケートによると、当選議員の大半が「政務調査費は全面公開」「費用弁償は廃止」と答えています。「議員特権の見直しは待ったなし」という市民世論の高まりが、議員の意識を変化させた結果といえます。

改選後に設置された検討会議で使途基準は細かく改定されましたが、政務調査費の公開基準や費用弁償の廃止を議論した幹事長会議では「見直せば収入が減る」との本音も出され、なかなか合意に至りませんでした。

そんななか日本共産党は、「市民は6月議会で結論が出ると期待して注目している。先延ばしは許されない」と一貫してリードし、「9月に必ず結論を出す」という今回の合意に至りました。

市監査委員が 監査請求受理 2006年度の政務調査費

広島市監査委員は6月29日、政務調査費の使途に疑問があるとして不適切支出の返還を求めた住民監査請求を受理しました。60日以内に結論が出されます。対象は、2006年度の研究研修費、調査旅費、資料購入費、広報費の4項目。2005年度の事務所費の監査請求では、公明党など3会派で約386万円の不正支出が発覚しています。

日本共産党
広島市議団ニュース

2007年7月9日 NO.737

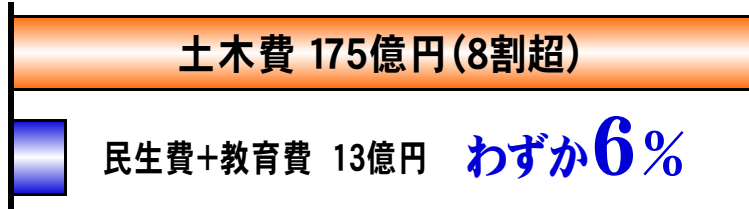
発行 日本共産党広島市会議員団
広島市中区国泰寺町1-6-34

TEL 082-244-0844
FAX 082-244-1567



いまこそ福祉・教育予算の増額を

市民が注目した秋葉市長3期目初の補正予算は…



どうしてこんなに少ないの?



5大プロジェクトで補正予算の3割も

出島産廃処分場 9億円、高速道路関連 14億円、西風新都関連道路 5億円、新幹線口再開発 7億円、新球場建設と周辺道路 27億円 合計62億円

今回の補正予算は、「福祉弱者の救済」を公約に掲げた秋葉市長再選後初めての補正予算として、市民が注目していました。しかし、211億円もの一般会計補正のうち8割超を土木費が占め、民生費と教育費は合わせても13億円、わずか6%でした。

土木費には、公共施設のアスベスト対策(約3億円)やバリアフリー化(約2億円)など市民生活に必要な事業もありますが、5大プロジェクトで補正予算全体の3割を占めるなど、「大型開発」に手厚い予算配分となっています。この中には、地元住民が強く反対する高速道路や出島産廃処分場も含まれています。

高速5号線の用地取得に8億円計上!

1号線の地盤沈下被害が広がっているのに…



(写真) 福木トンネルの工事で地盤沈下して亀裂が入った石垣

今回の補正には、トンネル工事で地盤沈下のおそれがある高速5号線の用地取得費約8億円が計上されています。

高速1号線福木トンネル工事による地盤沈下被害が深刻に広がるなか、工事に反対する地元住民の声を無視した今回の予算計上は許せません。

住民税大増税 問い合わせ殺到

6月だけで2万件超える!

市独自の減免措置を

国から地方への「税源移譲」による税率アップと、「定率減税全廃」による増税が重なった6月の住民税「大増税」通知を受け、市役所や区の窓口には6月だけで2万件を超える苦情・問い合わせが殺到しました。

日本共産党は今議会で、「財政再建の目的がたったというなら、市民生活を支援する予算を最優先すべき」と主張。生活保護基準以下の所得の人の市民税減免措置を提案しました。引き続き実現に全力を尽くします。